

全国学力・学習状況調査とは、文部科学省が平成19年度から毎年4月に実施している生徒の学力や学習状況の実態を把握する調査です。「学力調査」と「学習状況調査」があり、小学校6年生と、中学3年生を対象に行われています。今年度は「国語」「数学」「英語」の3教科が、「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式で実施されました。

こんな問題が出題されています。 は生徒のみなさんが取り組むとよいこと は学校が取り組んでいくこと

越廼中生のよくできている問題

越廼中生の課題のある問題

自分が継続して
がんばること

国語

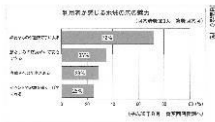
伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことができるかを問う問題。

【広報誌の一部】にある情報を用いて、【広報誌の一部】を見ていない人にも分かるように文章を書く。
(正答率100%)

正当の条件

①【広報部の一部】を見ていない人にも分かるように正確に書いている。

②書き出しに適切に続くように書いている。



伝えたい事柄、伝えるべき事柄について根拠を明確にして具体的に書くことができます。グラフ内の数値を用いて伝えるとさらに相手に伝わります。

これからも相手を意識し、どのような表現をしたら相手によりよく伝わるかを考えて、発表したり書いたりしましょう。

文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつことができるかを問う問題。

【全国中学生新聞】のリード文を説明したものと最も適したものを選択する。
(正答率63.6%) (県69.8%)

正解 2 このシリーズで取り上げる内容を示すことで

読者が今後の掲載の見通しをもつことができるようにしている。

文章の構成や展開、表現の仕方を分析的に捉え、そのような表現をした書き手の目的や意図を考えたり、その効果について考えたりすることに課題があります。

この文章は何について書いてあるのか、どのような構成になっているのか、書き手の目的や意図は何かなどを考えさせます。また、内容を捉えやすくするために、文章や問題文で大切だと思ったところには線を引いたり囲んだりするように指導します。

数学

「基礎的な計算問題」

連立方程式などの基礎的な計算をする問題

(正答率100%)

$$\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$$

正解 $(x, y) = (2, 3)$

直しを最後まで行ったり、ドリコンを通して基礎計算能力を高める学習を行ったりしています。また、間違いが起りやすい部分に関しては、考える時間や、グループで話し合う時間を設け、クラス全体で誤答を減らすための取り組みを行っています。

計算問題で自分が間違えてしまったときや、友達が間違えてしまったときに、どの部分がなぜ間違っているのかを分析し、論理立てて説明できるようにしましょう。

「数学的な表現に関する問題」

数学的な表現を読み取る、または数学的な表現を用いて説明をするような問題

(正答率55%) (県43.6%)

数学的な表現から意味を読み取ることに課題があります。(例:「二つの一次関数のy座標の差」という数学的表現が、何の量を表すかを理解していない)

数学的な表現を用いて論理的に説明することに課題があります。(例:ヒストグラムでの説明時に階級や度数といった数学的な表現を用いることができない)

数字の意味を表面的に捉えてしまう傾向があります。

数学的な表現を随時確認します。

普段の議論の時から、数学的な表現を使って議論することを意識させます。

文章題などで、式が意味する数量などを明確にさせます。

英語

「聞くこと」

ある状況を描写する英語を聞いて、情報を正確に聞き取る問題(正答率100%)

正解 3

朝6時に起きて、その後犬を散歩に連れて行く。



基礎英語の取り組みや、ALTの先生との会話、授業における英語での指示ややりとりを通して、短い英文を正確に聞き取る力が身についています。また、修学旅行で経験したオーストラリアでのホームステイやスクールステイにより培われた力が、十分に生かされた結果であるといえます。

さらなるリスニングの力をつけるために、より長い英文(まとまりのある文章)を聞き、概要やキーワードを捉える活動に取り組みましょう。

「読むこと」

まとまりのある文章を読んで、大切な部分を理解する問題。(正答率27.3%) (県平均35.8%)

説明文の要点を理解することに課題を抱えている理由として、2つの要因が考えられます。

- ・英文の中で使われている単語や言語表現の意味が分からず、文意を理解することができていません。
- ・書かれている内容はおおむね理解することができるが、どこが大切な部分(筆者の主張)なのかを理解することができていません。

自分がどの部分でつまづいているのかを分析し、克服するために何を勉強するとよいか考えることが大切です。

話の流れや要点をおさえながら、まとまりのある文章を読む活動を十分に行っていきます。また、英文の段落構成に留意して読むよう指導していきます。